

第2章

模擬試験問題と 解答・解説

電子会計実務検定試験初級の本番へ向けて、模擬試験問題に挑戦してみよう

その解答・解説を通じて、電子会計実務に対する自らの理解度をチェックしておこう。

1 模擬試験問題

この章では、電子会計実務検定試験の模擬試験問題の出題および解答・解説をします。
模擬試験問題は次のような構成になっています。

区分	内容	形式	問題数	配点
問題 1	電子会計に関する知識問題	空欄補充問題	5 題	25 点
問題 2	会計ソフトを使用したデータ入力と電子会計情報の活用			
設問 1	勘定残高等の金額の把握	多岐選択問題	10 題	50 点
設問 2	勘定内容の把握、原因分析	多岐選択問題	5 題	25 点

問題 2 では実際に会計ソフトを使用して会計データを入力し、入力した結果を見ながら解答します。模擬試験問題データを各自の会計ソフトに読み込んでから入力を行ってください。

問題 1

次の文章の空欄に最も適切な語句を、それぞれの語群から記号で選んで解答欄に記入しなさい。

No.	問題および語群
1	<p>会計ソフトに入力された商品の販売データは、電子取引データとして総勘定元帳の売上勘定に分類されると同時に[]の売上勘定に集計される。</p> <p>語群 ア. 貸借対照表 イ. 損益計算書 ウ. 補助元帳 エ. 得意先元帳</p>
2	<p>操作ミスやパソコンの故障などによる電子会計データの消失に備えて、定期的にコピーをとって保管することを[]という。</p> <p>語群 ア. 年度更新 イ. セットアップ ウ. バックアップ エ. 環境設定</p>
3	<p>会計ソフトでは、勘定科目に[]を設定することができる。複数の普通預金口座を保有している場合には、普通預金勘定に銀行ごとの[]を設定することがある。</p> <p>語群 ア. 補助科目 イ. 消費税区分 ウ. 資金コード エ. 部門コード</p>
4	<p>地代や家賃の自動振替を行っている場合、領収証が発行されないことがある。この場合には、支払いの事実は[]などの記録により、確認することとなる。</p> <p>語群 ア. 普通預金元帳 イ. 振込依頼書 ウ. 残高証明書 エ. 預金通帳</p>
5	<p>商品の販売代金は、一定期間の取引をまとめて請求することがある。このとりまとめのための期日を[]という。</p> <p>語群 ア. 決算日 イ. 請求日 ウ. 締日 エ. 受領日</p>

下記の資料に基づいて、株式会社X Y Zの5月分の取引を入力した後で、設問に答えなさい。

＜留意事項＞

1. 会社の概要

商 号：株式会社X Y Z

資 本 金：1,000 万円

会計期間：平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日（第 2 期）

業 種：小売・卸売業

消 費 税：簡易課税を選択，税込経理方式を採用

2. 商品の販売

当社は商品を得意先（株式会社H，株式会社 I，株式会社 J 及び株式会社K）に対して掛販売（代金後払いによる販売）をしている。売掛代金は月末を締日として得意先に請求し，翌月末日に普通預金口座に振り込まれる。掛売上高は得意先への請求額にもとづいて月末に計上している。

また，一般顧客に対して店頭にて商品を現金販売することがある。現金売上高は売上傳票にもとづいて計上している。

3. 商品の購入

当社は商品を仕入先（株式会社Q，株式会社V）から掛仕入（代金後払いによる購入）をしている。買掛代金は月末を締日として仕入先から請求を受け，翌月末日にインターネットバンキングにより仕入先指定口座に振り込んでいる。掛仕入高は仕入先からの請求額に基づいて月末に計上している。

4. 使用する勘定科目・補助科目，会計処理方法

使用する勘定科目や補助科目，会計処理の方法については，既に入力済みの4月分の取引を参照すること。また，勘定科目や補助科目の追加は行わないこと。

5. その他

- ・本問においては，給与にかかる社会保険料等は考慮しないこととする。なお，源泉所得税の納付については，所轄の税務署長から年2回（1月と7月）に分けて納付する特例の承認を受けている。
- ・取引日が実際には休日等に該当する場合でも，無視して処理することとする。
- ・消費税率の引上げに伴う経過措置の規定を考慮せず，消費税等の税率は8％として処理すること。

1. 領収書・レシートなど（すべて現金で支払い）

領 収 証

株式会社XYZ 様

★ ¥2,376. -

但 清掃用具代として
上記正に領収いたしました

平成27年5月3日

XYZ市ZA町1-5-7
雑貨〇〇商店



（消耗品費勘定で処理すること。）

領 収 証
株式会社XYZ様 平成27年5月5日

★ ¥7,452. -

但 出張旅費精算金として
上記正に領収いたしました

XYZ市ZA町1-3-5
〇山△子



（旅費交通費勘定で処理すること。）

領 収 証

株式会社XYZ 様

★ ¥9,288. -

但 ご飲食代として
上記正に領収いたしました

平成27年5月6日

XYZ市ZA町3-3-3
レストランN



（顧客接待のために支出したもの）

領収証書

毎度ありがとうございます

XYZ市ZA郵便局

2015年5月9日

収入印紙	9,000
合計	9,000
現金お預り	10,000
お釣り	1,000

（租税公課勘定で処理すること。）

Y 堂

2015年5月12日

文房具	1,016
文房具	1,522
文房具	2,538

合計	5,076
内税	376
預り	10,000
釣	4,924

（消耗品費勘定で処理すること）

領 収 証

株式会社XYZ 様

★ ¥9,288. -

但 コピー用紙代として
上記正に領収いたしました

平成27年5月15日

XYZ市ZA町3-2-1
㈱X文具



（消耗品費勘定で処理すること。）

ご請求書兼領収書
株式会社XYZ 様
雑誌広告代

★ ¥21,600.-

領収日:平成27年5月15日

XYZ市ZA町2-2
L広告



(広告宣伝費勘定で処理すること。)

ドラッグストア
ZドラッグZA店
2015年5月18日
4 × 702 単

お茶	2,808
合計	2,808
内消費税等	208
預り	3,000
釣り	192

(福利厚生費勘定で処理すること。)

領 収 証
株式会社XYZ 様

★ ¥17,172.-

但 ご飲食代として
上記正に領収いたしました

平成27年5月21日

XYZ市ZA町4-5-6
居酒屋G



(顧客接待のために支出したもの)

スーパーマーケット
スーパーM・ZA店
2015年5月24日
4 × 2,079 単

コーヒー	8,316
合計	8,316
(内税	616)
預り	10,316
釣り	2,000

(福利厚生費勘定で処理すること。)

領収証書

毎度ありがとうございます

XYZ市ZA郵便局
2015年5月27日

82円切手

× 50	4,100
合計	4,100
現金お預り	5,100
お釣り	1,000

(通信費勘定で処理すること)

領 収 証

株式会社XYZ 様

平成27年5月分 新聞購読料

3,780円(消費税込み)

平成27年5月31日

XYZ市ZA町4-9-12
D新聞販売所



(雑費勘定で処理すること。)

XY市Z A町1-2-3
株式会社XYZ 様

領収済み
2015.5.31

ご請求書

毎度ありがとうございます
下記の通りご請求申し上げます

XY市Z A町4-4-4
P石油

商品名	数量	単価	お買い上げ金額
5月分ガソリン代	129.29ℓ	¥140.0	¥18,100
消費税等（8%）			¥1,448
ご請求金額			¥19,548

（旅費交通費勘定で処理すること。）

2. 売上伝票（5月10日に入金）

売 上 伝 票

平成27年5月10日

○田×子 様

品名	数量	単価	金額
ABC03	50	4,720	236,000
小計			236,000
消費税等（8%）			18,880
合計金額			254,880

株式会社XYZ
XY市Z A町1-2-3

3. 給与支払明細書（5月25日に現金で支払）

給与支払明細書

（2015年5月分）

○山△子 殿

勤 務 日 数		20日
残 業 時 間 等		24.5時間
支 給 額	基 本 給	130,000
	残 業 手 当	24,800
	合 計	154,800
控 除 額	健 康 保 険	
	厚 生 年 金	
	雇 用 保 険	
	所 得 税	3,120
	合 計	3,120
差引支給額		151,680

株式会社XYZ

4. 請求書控

平成27年5月31日

請求書 (控)

株式会社H 様

株式会社XYZ
XY市Z A町1-2-3

下記の通りご請求申し上げます

月日	品名	数量	単価	金額
5 18	ABC01	135	12,500	1,687,500
30	JJ99	10	650	6,500
小 計				1,694,000
消費税額 (8%)				135,520
合計金額				1,829,520

平成27年5月31日

請求書 (控)

株式会社I 様

株式会社XYZ
XY市Z A町1-2-3

下記の通りご請求申し上げます

月日	品名	数量	単価	金額
5 10	ABC02	190	6,300	1,197,000
27	JJ99	100	630	63,000
小 計				1,260,000
消費税額 (8%)				100,800
合計金額				1,360,800

平成27年5月31日

請求書 (控)

株式会社J 様

株式会社XYZ
XY市Z A町1-2-3

下記の通りご請求申し上げます

月日	品名	数量	単価	金額
5 7	ABC03	150	4,000	600,000
21	JJ99	100	600	60,000
小 計				660,000
消費税額 (8%)				52,800
合計金額				712,800

平成27年5月31日

請求書 (控)

株式会社K 様

株式会社XYZ
XY市Z A町1-2-3

下記の通りご請求申し上げます


月日	品名	数量	単価	金額
5 15	ABC01	34	12,500	425,000
29	JJ99	5	600	3,000
小 計				428,000
消費税額 (8%)				34,240
合計金額				462,240

5. 請求書

平成27年5月31日

請求書

株式会社XYZ 様

株式会社Q 
QR市PB町2-3-4


下記の通りご請求申し上げます

月日	品名	数量	単価	金額
5/15	ABC01	260	10,000	2,600,000
	29 JJ99	267	500	133,500
小 計				2,733,500
消費税額（8%）				218,680
合計金額				2,952,180

平成27年5月31日

請求書（5月度）

株式会社XYZ 様

株式会社V 
VX市RC町3-4-5

下記の通りご請求申し上げます

税込合計金額	¥790,020.-
摘 要	金 額
前 月 請 求 残 高	0
別紙請求書（税抜）2 枚	731,500
消費税額等（税率8%）	58,520
当 月 請 求 額	790,020

6. インターネットバンキング振込受付結果表（指定どおり振込みが実行されている。）

F 銀行インターネットバンキング

振込受付結果 2015/5/25 10:04:43

【支払口座】

支店名	科目	口座番号
XY支店	普通	442****

【ご依頼内容】

金融機関名	E 銀行
支店名	QR支店
科目	当座
口座番号	5214***
口座名義人	か)Q
振込金額	3,201,660
振込手数料	432
引落金額	3,202,092
振込日	平成27年5月31日

F 銀行インターネットバンキング

振込受付結果 2015/5/25 10:06:25

【支払口座】

支店名	科目	口座番号
XY支店	普通	442****

【ご依頼内容】

金融機関名	H 銀行
支店名	VX支店
科目	普通
口座番号	6741***
口座名義人	か)V
振込金額	748,440
振込手数料	432
引落金額	748,872
振込日	平成27年5月31日

7. 預金通帳

年月日	摘要	お支払い金額	お預り金額	差引残高
1 27-05-01	繰越			★11,417,321
2 27-05-01		★250,000		★11,167,321
3 27-05-04	電話	★10,260	Y Y 移動電話	★11,157,061
4 27-05-05	電話	★26,892	Y Y 電信電話	★11,130,169
5 27-05-09	水道	★1,836	X Y 市水道局	★11,128,333
6 27-05-11			★200,000	★11,328,333
7 27-05-26	口座振替	★6,000	T 火災	★11,322,333
8 27-05-27	電気	★17,604	Y Y 電力	★11,304,729
9 27-05-27	ガス	★3,672	Y Y ガス	★11,301,057
10 27-05-27	クレジット	★41,580	R クレジット	★11,259,477
11 27-05-31	家賃	★145,800	S 不動産	★11,113,677
12 27-05-31	IB振込	★3,201,660	かQ	★7,912,017

13 27-05-31	手数料	★432	振込手数料	★7,911,585
14 27-05-31	IB振込	★748,440	かV	★7,163,145
15 27-05-31	手数料	★432	振込手数料	★7,162,713
16 27-05-31	振込	かH	★1,871,100	★9,033,813
17 27-05-31	振込	かI	★1,372,140	★10,405,953
18 27-05-31	振込	かJ	★706,860	★11,112,813
19 27-05-31	振込	かK	★457,380	★11,570,193
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

(5/1は現金の引出し、5/11は現金の預入れである。)

(5/26のT火災は、自動車保険料の振替である。)

8. 在庫表

在庫表

平成27年5月31日現在

商品名	数量	単価	金額
ABC01	71	10,000	710,000
ABC02	55	5,000	275,000
ABC03	45	3,000	135,000
JJ99	70	500	35,000
小計			1,155,000
消費税等			92,400
合計			1,247,400

9. 減価償却月割額

減価償却月割額

平成27年度

区 分	年 額	月割額
車 輛 運 搬 具	265,260	22,105
工具器具備品	358,440	29,870
合計	623,700	51,975

＜設問 1＞ 次の金額を答えなさい。なお、金額は消費税を含んだ金額とすること（単位は円）。

No.	問題および語群
6	普通預金の 5 月末残高
7	得意先 J に対する売掛金の 5 月の回収額
8	5 月の仕入総額
9	仕入先 V に対する買掛金の 5 月の支払額
10	未払金の 5 月の支払額
11	5 月の販売費および一般管理費の合計額
12	5 月末の減価償却累計額
13	5 月末の資産合計
14	5 月末の売上総利益
15	5 月末の当期純利益

<設問 2> 次の設問に語群から選んで答えなさい。

No.	問題および語群
16	5 月末までの売上高が最も多かった得意先はどこですか。 語群 ア. 株式会社 H イ. 株式会社 I ウ. 株式会社 J エ. 株式会社 K
17	5 月末までの仕入高が最も多かった仕入先はどこですか。 語群 ア. 株式会社 H イ. 株式会社 K ウ. 株式会社 Q エ. 株式会社 V
18	4 月の福利厚生費が 5 月に比較して多額となっている原因は何ですか。 語群 ア. 残業食事代 イ. 社員旅行費用 ウ. 従業員懇親会飲食代 エ. 健康診断費用
19	4 月の旅費交通費が 5 月に比較して多額となっている原因は何ですか。 語群 ア. ガソリン代 イ. 通勤手当 ウ. 遠距離出張旅費精算 エ. 社員旅行費用
20	雑費の内容は何ですか。 語群 ア. 雑誌購読料 イ. 証明書発行手数料 ウ. 清掃用品レンタル料 エ. 新聞購読料

2 模擬試験問題の解答

問題 1

1. イ 2. ウ 3. ア 4. エ 5. ウ

問題 2

<設問 1>

6. 11,570,193 7. 706,860 8. 3,742,200 9. 748,440 10. 41,580
11. 539,507 12. 969,450 13. 19,983,113 14. 1,746,900 15. 338,078

<設問 2>

16. ア 17. ウ 18. イ 19. ウ 20. エ

3 模擬試験問題の解説

(1) 問題 1 の解説

1. 会計ソフトに入力された電子取引データは、勘定科目や補助科目ごとに総勘定元帳や補助元帳などに分類されます。また、勘定科目や補助科目の集計数値は貸借対照表、損益計算書、補助明細一覧表などに反映されます。

例えば、商品の販売データは、総勘定元帳の売掛金勘定と売上勘定、補助元帳の得意先名勘定に分類されます。売掛金勘定や売上勘定の借方・貸方の合計や残高は、貸借対照表の売掛金勘定や損益計算書の売上勘定に集計され、得意先名勘定のこれらの数値は補助明細一覧表に集計されます。なお、貸借対照表や損益計算書は合計残高試算表の画面で確認することができます。

2. 会計ソフトの操作ミスやパソコンのトラブルによって、電子会計データの一部または全部が消失する場合があります。そのような場合に備えて電子会計データのコピーを取ることをバックアップといいます。バックアップは定期的に行い、バックアップデータの保管・管理には十分注意する必要があります。

また、バックアップされた電子会計データはデータ復元で復旧できます。

3. 勘定科目には、補助科目を設定することができます。補助科目が設定された勘定科目は勘定科目ごとに分類・集計されるとともに、補助科目ごとにも分類・集計されるため、補助科目ごとの残高や明細を確認する場合に便利です。

例えば、複数の普通預金口座を使用している場合に、普通預金勘定に預金口座ごとの補助科目を設定すれば、貸借対照表で普通預金勘定の残高を確認できると同時に、補助元帳や補助明細一覧表などで、預金口座ごとの明細や残高を確認することができます。

4. 経費や買掛代金などの支払取引では、一般的に請求書や領収証などが発行されるため、これらの書類により支払いの事実を確認することができます。ところが、地代や家賃の支払いを銀行預金口座からの自動振替としている場合には、支払先から請求書や領収証が発行されないことがあります。この場合は、預金通帳の記帳面からその支払日、支払額、支払先を確認します。支払金額には、振込手数料相当額が含まれていることがあるので注意が必要です。
5. 得意先に対して反復して継続的に取引があるときは、通常の場合、その都度代金を請求せずに、一定期間ごとに区切って、その間の取引をまとめて請求します。この取りまとめの期日を締日といいます。

例えば、「20 日締め、25 日請求、翌月 10 払い」といった場合には、前月 21 日から当月 20 日までの取引をまとめて、その代金を得意先に 25 日に請求し、得意先は翌月 10 日にその代金を支払うという意味になります。

(2) 問題 2 の解説

①問題データ入力の準備について

本問では、既に4月まで入力済みの電子会計データに5月分の会計データを追加することになります。そこで最初に、模擬試験問題データを読み込みます。次に、下記の「証憑（しょうひょう）書類等の見方と取引の入力についての留意点」に注意しながら、資料1～9の証憑書類等に基づいて5月分の会計データを入力します。

②証憑書類等の見方と取引の入力についての留意点

i) 領収証・レシート

領収証やレシートは、代金を支払った時に相手先から取得する代金支払いの証明書です。

領収証には、発行日付（通常は、支払日と同じ）、支払者の名称、金額、ただし書き、発行者の名称等および印などが記載されています。ただし書きには、取引の内容や売買された物品の名称などを記載します。

領 収 証
株式会社XYZ 様
★ ¥2,376.-
但 清掃用具代として 上記正に領収いたしました
平成27年5月3日
XY市ZA町1-5-7 雑貨〇〇商店
印

一方、レシートには、発行者の名称等、発行日付（通常は、支払日と同じ）、売買された物品等の明細と金額、合計金額、消費税等の額、預り金額、釣り金額などが記載されています。

なお、本問では次のように処理しています。上記の要領で入力してください。

記号の意味：(借)＝借方、(貸)＝貸方、(摘)＝摘要

日付	領収書・レシート	会計処理
5/3	<p>領 収 証</p> <p>株式会社X Y Z 様</p> <p>★ ¥2,376.-</p> <p>但 清掃用具代として 上記正に領収いたしました</p> <p>平成27年5月3日</p> <p>X Y 市 Z A 町1-5-7 雑貨〇〇商店 印</p>	<p>(借) 消耗品費 2,376</p> <p>(貸) 現金 2,376</p> <p>(摘) 清掃用具代 雑貨 〇〇商店</p>
5/5	<p>領 収 証</p> <p>株式会社X Y Z 様 平成27年5月5日</p> <p>★ ¥7,452.-</p> <p>但 出張旅費精算金として 上記正に領収いたしました</p> <p>X Y 市 Z A 町1-3-5 〇山△子 印</p>	<p>(借) 旅 費 交 通 費 7,245</p> <p>(貸) 現金 7,245</p> <p>(摘) 出張旅費精算 〇 山△子</p>

5/6	<div><div>領 収 証</div><div>株式会社XYZ 様</div><div>★ ¥9,288. -</div><div>但 ご飲食代として</div><div>上記正に領収いたしました</div><div>平成27年5月6日</div><div>XYZ市Z A町3-3-3</div><div>レストランN</div><div>印</div></div>	<div>(借) 交際費 9,288</div> <div>(貸) 現金 9,288</div> <div>(摘) 接待飲食代 レストラン N</div>
5/9	<div><div>領収証書</div><div>毎度ありがとうございます</div><div>XYZ市Z A郵便局</div><div>2015年5月9日</div><div>収入印紙 9,000</div><div>合計 9,000</div><div>現金お預り 10,000</div><div>お釣り 1,000</div></div>	<div>(借) 租税公課 9,000</div> <div>(貸) 現金 9,000</div> <div>(摘) 収入印紙代 XYZ市 Z A 郵便局</div>

5/12	<div><div>Y 堂</div><div>2015年5月12日</div><table><tr><td>文房具</td><td>1,016</td></tr><tr><td>文房具</td><td>1,522</td></tr><tr><td>文房具</td><td>2,538</td></tr><tr><td colspan="2">-----</td></tr><tr><td>合計</td><td>5,076</td></tr><tr><td>内税</td><td>376</td></tr><tr><td>預り</td><td>10,000</td></tr><tr><td>釣</td><td>4,924</td></tr></table></div>	文房具	1,016	文房具	1,522	文房具	2,538	-----		合計	5,076	内税	376	預り	10,000	釣	4,924	(借) 消耗品費 5,076 (貸) 現金 5,076 (摘) 文房具代 Y 堂
文房具	1,016																	
文房具	1,522																	
文房具	2,538																	

合計	5,076																	
内税	376																	
預り	10,000																	
釣	4,924																	
5/15	<div><div>領 収 証</div><div>株式会社XYZ 様</div><div>★ ¥9,288. -</div><div>但 コピー用紙代として 上記正に領収いたしました</div><div>平成27年5月15日</div><div>XYZ市Z A町3-2-1 (有)X文具</div><div>久会印社</div></div>	(借) 消耗品費 9,288 (貸) 現金 9,288 (摘) コピー用紙代 (有)X 文具																
5/15	<div><div>ご請求書兼領収書</div><div>株式会社XYZ 様</div><div>雑誌広告代</div><div>★ ¥21,600. -</div><div>領収日:平成27年5月15日</div><div>XYZ市Z A町2-2-2 L 広告</div><div>久会印社</div></div>	(借) 広告宣伝費 21,600 (貸) 現金 21,600 (摘) 雑誌広告代 L 広 告																

5/18	<div><div>ドラッグストア ZドラッグZA店 2015年5月18日 4 × 702 単</div><table><tr><td>お茶</td><td>2,808</td></tr><tr><td>合計</td><td>2,808</td></tr><tr><td>内消費税等</td><td>208</td></tr><tr><td>預り</td><td>3,000</td></tr><tr><td>釣り</td><td>192</td></tr></table></div>	お茶	2,808	合計	2,808	内消費税等	208	預り	3,000	釣り	192	(借) 福利厚生費 2,808 (貸) 現金 2,808 (摘) お茶代 ZドラッグZA店
お茶	2,808											
合計	2,808											
内消費税等	208											
預り	3,000											
釣り	192											
5/21	<div><div>領 収 証 株式会社XYZ 様</div><div>★ ¥17,172.-</div><div>但 ご飲食代として 上記正に領収いたしました</div><div>平成27年5月21日 XY市ZA町4-5-6 居酒屋G</div><div>印</div></div>	(借) 交際費 17,172 (貸) 現金 17,172 (摘) 接待飲食代 居酒屋G										
5/24	<div><div>スーパーマーケット スーパーM・ZA店 2015年5月24日 4 × 2,079 単</div><table><tr><td>コーヒー</td><td>8,316</td></tr><tr><td>合計</td><td>8,316</td></tr><tr><td>(内税</td><td>616)</td></tr><tr><td>預り</td><td>10,316</td></tr><tr><td>釣り</td><td>2,000</td></tr></table></div>	コーヒー	8,316	合計	8,316	(内税	616)	預り	10,316	釣り	2,000	(借) 福利厚生費 8,316 (貸) 現金 8,316 (摘) コーヒー代 スーパーM・ZA店
コーヒー	8,316											
合計	8,316											
(内税	616)											
預り	10,316											
釣り	2,000											

5/27	<div><div>領収証書</div><div>毎度ありがとうございます</div><div>XY市ZA郵便局</div><div>2015年5月27日</div><div>82円切手</div><div><div>× 50</div><div>4,100</div></div><div><div>合計</div><div>4,100</div></div><div><div>現金お預り</div><div>5,100</div></div><div><div>お釣り</div><div>1,000</div></div></div>	(借) 通信費 4,100 (貸) 現金 4,100 (摘) 切手代 XY 市 ZA 郵便局																
5/31	<div><div>領 収 証</div><div>株式会社XYZ 様</div><div>平成27年5月分 新聞購読料</div><div>3,780円(消費税込み)</div><div>平成27年5月31日</div><div>XY市ZA町4-9-12</div><div>D新聞販売所</div><div>久会印社</div></div>	(借) 雑費 3,780 (貸) 現金 3,780 (摘) 新聞購読料 D 新 聞販売所																
5/31	<div><div>XY市ZA町1-2-3</div><div>株式会社XYZ 様</div><div>領収済み 2015.5.31</div><div><div>ご 請 求 書</div><div>毎度ありがとうございます</div><div>下記の通りご請求申し上げます</div><div>XY市ZA町4-4-4</div><div>P石油</div></div><div><table><tr><th>商品名</th><th>数量</th><th>単価</th><th>お買い上げ金額</th></tr><tr><td>5月分ガソリン代</td><td>129.29ℓ</td><td>¥140.0</td><td>¥18,100</td></tr><tr><td>消費税等 (8%)</td><td></td><td></td><td>¥1,448</td></tr><tr><td colspan="3">ご請求金額</td><td>¥19,548</td></tr></table></div></div>	商品名	数量	単価	お買い上げ金額	5月分ガソリン代	129.29ℓ	¥140.0	¥18,100	消費税等 (8%)			¥1,448	ご請求金額			¥19,548	(借) 旅費交通費 19,548 (貸) 現金 19,548 (摘) 5 月分ガソリン代 P 石油
商品名	数量	単価	お買い上げ金額															
5月分ガソリン代	129.29ℓ	¥140.0	¥18,100															
消費税等 (8%)			¥1,448															
ご請求金額			¥19,548															

ii) 売上傳票

一般顧客に対して店頭にて商品を現金販売した場合に、売上傳票が発行されます。売上傳票には、発行日付（販売日付）、販売先の名称、品名、数量、単価、明細金額、税抜合計金額、消費税率、消費税額、税込合計金額が記載されます。

売 上 伝 票			
平成27年5月10日			
〇田×子 様			
品名	数量	単価	金額
ABC03	50	4,720	236,000
小計			236,000
消費税等（8％）			18,880
合計金額			254,880

株式会社XYZ
XYZ市Z A町1-2-3

売上傳票は、振替伝票入力画面、出納帳入力画面（現金出納帳）などから会計ソフトに入力します。

入力日付は発行日付で、借方勘定科目は現金勘定、貸方勘定科目は売上高勘定です。金額には税込合計金額を入力し、摘要には、販売先の名称や現金販売である旨を簡潔に入力します。

給与支払明細書

(2015年5月分)

○山△子 殿

勤 務 日 数		20日
残 業 時 間 等		24.5時間
支 給 額	基 本 給	130,000
	残 業 手 当	24,800
	合 計	154,800
控 除 額	健 康 保 険	
	厚 生 年 金	
	雇 用 保 険	
	所 得 税	3,120
	合 計	3,120
差引支給額		151,680

株式会社XYZ

給与の支給データを給与支払明細書から個人別に会計ソフトに入力することは現実的ではありません。通常の場合、給与支払明細書の内容をまとめた給与明細一覧表から合計数値のみを入力することになります。本問の場合は、給与の受給者は1名だけなので、給与支払明細書から取引を入力することになります。

給与の支給データは、振替伝票入力画面、出納帳入力画面（現金出納帳）などから会計ソフトに入力することになります。本問の場合、入力日付は支払日で、借方勘定科目は給与手当勘定、貸方勘定科目は現金勘定です。金額には支払額の合計額を入力し、摘要は5月分給料支払いなどとします。

振替伝票入力

ヘルプ 登録 行挿入 行削除 伝票削除 電卓 メモ シャンプ 事例取込 検索・置換 終了

F1+ F2+ F3+ F4 F5+ F6 F7 F8+ F9+ F10 F11+ F12

振替伝票入力(5月)

検索(C) 全表示 <<前 次>> 新規伝票

表示順 日付順(Y) 入力順(P) 伝票No.順(D)

月/日(G) 05/25 伝票No.(B) 46 決算取引(V)

No.	取引	コード	摘要	税率	区	借方科目	借方金額	区	貸方科目	貸方金額
付箋1	コード		補助摘要	事業	税	借方補助	借方消費税	税	貸方補助	貸方消費税
マーク	付箋2	メモ				借方部門	数量		貸方部門	
1			5月分給料支払			給料手当	154,800		現金	151,880
2			5月分源泉所得税預り						預り金	3,120
借方合計							154,800	貸方合計		154,800
								貸借差額		0

なお、健康保険料や厚生年金保険料などの控除額については、本間では無視しています。

iv) 請求書控

会社は一定期間の商品の売買代金を一定時点で集計して、得意先に対して請求します。この時発行する書類を請求書といいます。また、請求書控は請求書のコピーのことで、会社が請求内容を確認するための資料として保管します。

請求書には、請求書の発行日付、得意先名、請求金額、請求のもとになった取引の内容などが記載されます。

請求書（控）

株式会社H 様

平成27年5月31日

株式会社X Y Z
X Y 市 Z A 町1-2-3

下記の通りご請求申し上げます

月日	品名	数量	単価	金額
5 18	ABC01	135	12,500	1,687,500
30	JJ99	10	650	6,500
小 計				1,694,000
消費税額（8 %）				135,520
合計金額				1,829,520

請求書を受け取った者は、一定の期日までにその代金を支払う必要があります。

本問の場合は、請求書控に基づいて、月に1回、得意先に対する売上高を計上することになります。売上高計上時点ではまだ入金はありませんから、売掛金を計上します。

請求書控は、振替伝票入力画面、出納帳入力画面（売掛帳）などから会計ソフトに入力します。

入力日付は発行日付（月末）で、借方勘定科目は売掛金勘定、借方補助科目は得意先勘定、貸方勘定科目は売上高勘定です。金額には税込合計金額を入力し、摘要には月度や取引の内容を簡潔に入力します。

振替伝票入力(5月)

検索(C) 全表示 <<前 次>> 新規伝票

表示順 日付順(Y) 入力順(P) 伝票No.順(D)

月/日(Q) 05/31 伝票No.(B) 47 決算取引(V)

No.	取引	コード	摘要	税率	区	借方科目	借方金額	区	貸方科目	貸方金額
付箋1	コード	補助摘要	事業	税	借方補助	借方消費税	税	貸方補助	貸方消費税	
マーク	付箋2	ノ			借方部門	数量		貸方部門		
1			5月分売上高 (株)H	8%		売掛金 得意先H	1,829,520	11 内	売上高	4,365,360
				二種						323,360
2			5月分売上高 (株)I			売掛金 得意先I	1,360,800			
3			5月分売上高 (株)J			売掛金 得意先J	712,800			
4			5月分売上高 (株)K			売掛金 得意先K	462,240			
借方合計							4,365,360	貸方合計		4,365,360
								貸借差額		0

v) 請求書

本間では受け取った請求書に基づいて月末に仕入高を計上しています。仕入高の計上時点では支払いは行われていないので買掛金を計上します。

平成27年5月31日

請求書

株式会社XYZ 様

株式会社Q
Q R市P B町2-3-4

下記の通りご請求申し上げます

月日	品名	数量	単価	金額
5 15	ABC01	260	10,000	2,600,000
29	JJ99	267	500	133,500
小 計				2,733,500
消費税額 (8%)				218,680
合計金額				2,952,180

請求書は、振替伝票入力画面、出納帳入力画面（買掛帳）などから会計ソフトに入力します。

入力日付は月末で、借方勘定科目は仕入勘定、貸方勘定科目は買掛金勘定、貸方補助科目は仕入先勘定です。金額には税込合計金額を入力し、摘要には月度や取引の内容を簡潔に入力します。

No.	取引1	取引2	摘要	税率	区	借方科目	借方金額	区	貸方科目	貸方金額
1	付箋1	付箋2	5月分仕入高 (株)Q	8%	21	仕入高	3,742,200		買掛金	2,952,180
					内	借方補助	277,200		仕入先Q	
2			5月分仕入高 (株)V						買掛金	790,020
									仕入先V	
借方合計							3,742,200	貸方合計		3,742,200
								貸借差額		0

vi) 総合振込依頼書、インターネットバンキング振込受付結果表

商品売買代金や経費の支払いを銀行振込で一斉に行う場合には、総合振込依頼書を作成して、決められた期日までに銀行に依頼します。

最近では、インターネットバンキングを利用した支払も増加しています。銀行などとの間であらかじめ契約をすることにより、インターネットを経由して指定口座に代金を振り込むことができます。

本問では、インターネットバンキングを利用して、商品の購入代金の支払いを行っています。振込内容の確認のために、インターネットバンキング振込受付結果表などを印刷します。

F 銀行インターネットバンキング
振込受付結果 2015/5/25 10:04:43

【支払口座】

支店名	科目	口座番号
X Y 支店	普通	442****

【ご依頼内容】

金融機関名	E 銀行
支店名	Q R 支店
科目	当座
口座番号	5214***
口座名義人	か) Q
振込金額	3,201,660
振込手数料	432
引落金額	3,202,092
振込日	平成27年5月31日

振込金額と振込手数料は月末に普通預金口座から引き落とされていることが、預金通帳の記帳面から確認できます。

11	27-05-31	家賃	★145,800	S 不動産	★11,113,677
12	27-05-31	IB振込	★3,201,660	か) Q	★7,912,017
13	27-05-31	手数料	★432	振込手数料	★7,911,585
14	27-05-31	IB振込	★748,440	か) V	★7,163,145
15	27-05-31	手数料	★432	振込手数料	★7,162,713
16	27-05-31	振込	か) H	★1,871,100	★9,033,813

インターネットバンキング振込受付結果表は、振替伝票入力画面、出納帳入力画面（預金出納帳）などから会計ソフトに入力します。

入力日付は振込日で、振込金額は、借方勘定科目は買掛金勘定、借方補助科目は仕入先勘定、貸方科目は普通預金勘定、貸方補助科目は銀行勘定、摘要は月度や取引の内容を簡潔に入力します。また、振込手数料については、借方勘定科目は支払手数料勘定、貸方科目は普通預金勘定、貸方補助科目は銀行勘定、摘要は取引の内容を簡潔に入力します。

振替伝票入力(6月)

検索(C) 全表示 <<前 次>> 新規伝票

表示順 日付順(Y) 入力順(P) 伝票No順(D)

月/日(Q) 05/31 伝票No(B) 49 決算取引(V)

No.	取引 付箋1 付箋2	コード コード /E	摘要 補助摘要	税率 事業	区 税	借方科目 借方補助 借方部門	借方金額 借方消費税 数量	区 税	貸方科目 貸方補助 貸方部門	貸方金額 貸方消費税	
1			4月分仕入代金支払 (株)Q			買掛金 仕入先Q	3,201,660		普通預金 F銀行	3,201,660	
2			振込手数料 F銀行	8%	21 内	支払手数料	432 32		普通預金 F銀行	432	
3			5月分仕入代金支払 (株)V			買掛金 仕入先V	748,440		普通預金 F銀行	748,440	
4			振込手数料 F銀行	8%	21 内	支払手数料	432 32		普通預金 F銀行	432	
借方合計				3,950,964		貸方合計				3,950,964	
						貸借差額				0	

vii) 預金通帳

預金通帳には、行番号、取引日付、摘要、お支払い金額、お預かり金額、差引残高などの欄が設けられ、預金口座の増減にかかる取引内容と残高を示しています。

年月日	摘要	お支払い金額	お預り金額	差引残高
1 27-05-01	繰越			★11,417,321
2 27-05-01		★250,000		★11,167,321
3 27-05-04	電話	★10,260	Y Y 移動電話	★11,157,061
4 27-05-05	電話	★26,892	Y Y 電信電話	★11,130,169
5 27-05-09	水道	★1,836	X Y 市水道局	★11,128,333
6 27-05-11			★200,000	★11,328,333
7 27-05-26	口座振替	★6,000	T 火災	★11,322,333
8 27-05-27	電気	★17,604	Y Y 電力	★11,304,729
9 27-05-27	ガス	★3,672	Y Y ガス	★11,301,057
10 27-05-27	クレジット	★41,580	R クレジット	★11,259,477
11 27-05-31	家賃	★145,800	S 不動産	★11,113,677
12 27-05-31	IB振込	★3,201,660	か)Q	★7,912,017
13 27-05-31	手数料	★432	振込手数料	★7,911,585
14 27-05-31	IB振込	★748,440	か)V	★7,163,145
15 27-05-31	手数料	★432	振込手数料	★7,162,713
16 27-05-31	振込	か)H	★1,871,100	★9,033,813
17 27-05-31	振込	か)I	★1,372,140	★10,405,953
18 27-05-31	振込	か)J	★706,860	★11,112,813
19 27-05-31	振込	か)K	★457,380	★11,570,193
18				
19				
20				
22				
23				
24				

[illegible]

92

通帳記入面					取引等の内容と会計処理
					前ページからの繰越残高が 11,417,321 円であることを表します。特に処理はありませんが、補助元帳の 5 月 1 日の普通預金・F 銀行残高と一致しているかどうか確認してください。
					250,000 円の引き出しがありました。 (借)現金 250,000 (貸)普通預金・F 銀行 250,000 (摘)引出し
					携帯電話料金 10,260 円が口座振替によって引き落とされました。 (借)通信費 10,260 (貸)普通預金・F 銀行 10,260 (摘)携帯電話通話料 YY 移動電話
					電話料金 26,892 円が口座振替によって引き落とされました。 (借)通信費 26,892 (貸)普通預金・F 銀行 26,892 (摘)電話料金 YY 電信電話

年月日	摘要	お支払い金額	お預り金額	差引残高
1 27-05-01	繰越			★11,417,321
2 27-05-01		★250,000		★11,167,321
3 27-05-04	電話	★10,260	YY 移動電話	★11,157,061
4 27-05-05	電話	★26,892	YY 電信電話	★11,130,169

通帳記入面			取引等の内容と会計処理
			水道料金 1,836 円が口座振替によって引き落とされました。 (借) 水道光熱費 1,836 (貸) 普通預金・F 銀行 1,836 (摘) 水道料金 XY 市水道局
			200,000 円の預け入れがありました。 (借) 普通預金・F 銀行 200,000 (貸) 現金 200,000 (摘) 預入れ
			自動車保険料 6,000 円が口座振替によって引き落とされました。 (借) 保険料 6,000 (貸) 普通預金・F 銀行 6,000 (摘) 自動車保険料 T 火災
			電気料金 17,604 円が口座振替によって引き落とされました。 (借) 水道光熱費 17,604 (貸) 普通預金・F 銀行 17,604 (摘) 電気料金 YY 電力
5 27-05-09	水道	★1,836 XY 市水道局	★11,128,333
6 27-05-11		★200,000	★11,328,333
7 27-05-26	口座振替	★6,000 T 火災	★11,322,333
8 27-05-27	電気	★17,604 YY 電力	★11,304,729
9 27-05-27	ガス	★3,672 YY ガス	★11,301,057
10 27-05-27	クレジット	★41,580 R クレジット	★11,259,477
11 27-05-31	家賃	★145,800 S 不動産	★11,113,677
			ガス料金 3,672 円が口座振替によって引き落とされました。 (借) 水道光熱費 3,672 (貸) 普通預金・F 銀行 3,672 (摘) ガス料金 YY ガス
			R クレジットのクレジット代金 41,580 円が口座振替によって引き落とされました。 (借) 未払金 41,580 (貸) 普通預金・F 銀行 41,580 (摘) クレジット代金支払 R クレジット
			S 不動産に対する事務所家賃 145,800 円が口座振替によって引き落とされました。 (借) 地代家賃 145,800 (貸) 普通預金・F 銀行 145,800 (摘) 5 月分事務所家賃 S 不動産

通帳記入面					取引等の内容と会計処理	
					インターネットバンキングにより、振込が行われました。この取引は、上記 vi) によりすでに処理済みです。	
					インターネットバンキング振込にかかる振込手数料です。この取引も上記 vi) によりすでに処理済みです。	
					得意先Hから売掛代金 1,871,100 円が振り込まれました。	
					(借) 普通預金・F銀行 1,871,100 円	
					(貸) 売掛金・得意先H 1,871,100 円	
					(適) 4 月分売掛代金回収	
12 27-05-31 IB振込 ★3,201,660 加Q					★7,912,017	
13 27-05-31 手数料 ★432 振込手数料					★7,911,585	
14 27-05-31 IB振込 ★748,440 加V					★7,163,145	
15 27-05-31 手数料 ★432 振込手数料					★7,162,713	
16 27-05-31 振込 加H					★1,871,100 ★9,033,813	
17 27-05-31 振込 加I					★1,372,140 ★10,405,953	
18 27-05-31 振込 加J					★706,860 ★11,112,813	
19 27-05-31 振込 加K					★457,380 ★11,570,193	
					得意先 I から売掛代金 1,372,140 円が振り込まれました。	
					(借) 普通預金・F銀行 1,372,140 円	
					(貸) 売掛金・得意先 I 1,372,140 円	
					(適) 4 月分売掛代金回収	
					得意先 J から売掛代金 706,860 円が振り込まれました。	
					(借) 普通預金・F銀行 706,860 円	
					(貸) 売掛金・得意先 J 706,860 円	
					(適) 4 月分売掛代金回収	
					得意先 K から売掛代金 457,380 円が振り込まれました。	
					(借) 普通預金・F銀行 457,380 円	
					(貸) 売掛金・得意先 K 457,380 円	
					(適) 4 月分売掛代金回収	

viii) 在庫表

在庫とは、購入した商品のうち、まだ販売されていないものをいいます。在庫表は、一定時点の商品等の在庫表と金額を示す一覧表です。在庫調査日、商品名、数量、単価、金額、消費税額、合計額などが記載されます。

在 庫 表

平成27年5月31日現在

商品名	数量	単価	金額
ABC01	71	10,000	710,000
ABC02	55	5,000	275,000
ABC03	45	3,000	135,000
JJ99	70	500	35,000
小 計			1,155,000
消費税等			92,400
合 計			1,247,400

販売した商品の原価を売上原価といいます。また、売上高から売上原価を差し引いたもうけを売上総利益または粗利といいます。在庫がなければ売上原価と仕入高は一致しますが、在庫があるのでその部分については、仕入高から差し引かなければなりません。ここで差し引く在庫額を月末商品棚卸高といいます。

前月から繰り越された在庫がある場合には、前月から繰り越された在庫（月初商品棚卸高といいます）と当月仕入高の合計額から月末商品棚卸高を差し引けば、売上原価を計算することができます。

電子会計では、これらの処理をするために「商品」、「期首商品棚卸高」、「期末商品棚卸高」の3つの勘定科目を使用します。商品勘定は商品の在庫額を表す資産勘定で貸借対照表に表示されます。一方、期首商品棚卸高勘定は前期から繰り越された商品の在庫額を、期末商品棚卸高勘定は当期末の商品の在庫額をそれぞれ表す売上原価の内訳勘定で損益計算書に表示されます。

本問では、5月末の在庫額は在庫表の合計額から1,247,400円であることが分かります。また、4月末の在庫額は4月末の商品勘定および期末商品棚卸高勘定の残高ですから、合計残高試算表や総勘定元帳などの電子帳票から確認でき、1,316,520円であることがわかります。

会計残高試算表						
ヘルプ	印刷	最新表示	グラフ	元帳	印刷	Excel
F1	F2	F3	F4	F5+	F6	F7
合計残高試算表						
集計期間(Y) 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 決 部門(B) 全事業所						
貸借対照表 損益計算書						
ゼロ非表示(Z) 補助同時表示(Y) 税込集計(J) 表示切替(C) 標準表示						
補	勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比(%)
	《資産の部》					
	《流動資産》					
	(現金・預金)					
	現金	114,020	895,160	890,426	118,754	0.80
	普通預金	11,324,905	4,333,260	4,240,844	11,417,321	57.20
	現金・預金 計	11,438,925	5,228,420	5,131,270	11,536,075	57.80
	(売上債権)					
	売掛金	4,033,260	4,407,480	4,033,260	4,407,480	22.08
	売上債権 計	4,033,260	4,407,480	4,033,260	4,407,480	22.08
	(有価証券)					
	有価証券 計	0	0	0	0	0.00
	(棚卸資産)					
	商品	1,081,080	1,316,520	1,081,080	1,316,520	6.80
	棚卸資産 計	1,081,080	1,316,520	1,081,080	1,316,520	6.80
	(その他流動資産)					
	その他流動資産 計	0	0	0	0	0.00
	流動資産合計	16,553,265	10,952,420	10,245,610	17,260,075	86.47
	《固定資産》					
	(固定資産)					
	負債の部合計				5,913,180	
	純資産の部合計				14,046,890	
	資産の部合計		19,960,060	負債・純資産合計	19,960,060	

従って、振替伝票画面からパソコン会計ソフトに次のように入力することになります。

振替伝票入力									
ヘルプ	登録	行挿入	行削除	伝票削除	電卓	メモ	ジャンプ	事例取込	検索・置換
F1+	F2+	F3+	F4	F5+	F6	F7	F8+	F9+	F10
振替伝票入力(5月)									
検索(C) 全表示									
表示順 日付順(Y) 入力順(B) 伝票No.順(D)									
月/日(G) 05/31 伝票No.(B) 64 決算取引(Y)									
No.	取引	コード	摘要	税率	区	借方科目	借方金額	区	貸方科目
付箋1	コード		補助摘要	事業	税	借方補助	借方消費税	税	貸方補助
マーク	付箋2	メモ				借方部門	数量		貸方部門
1			月初商品棚卸高 5月分			期末商品棚卸高	1,316,520		商品
2			月末商品棚卸高 5月分			商品	1,247,400		期末商品棚卸高
借方合計				2,563,920		貸方合計	2,563,920	貸借差額	0
全表示 4月/5月/6月/7月/8月/9月/10月/11月/12月/1月/2月/3月/決算月									

ix) 減価償却月割り額

建物、車両運搬具、工具器具備品などの有形固定資産は、使用や時の経過によって価値が徐々に減少していきます。これらの資産の取得価額は購入した期の費用とせずに入った資産に計上し、使用可能期間にわたって規則的に各期の費用としていくことになっています。これを減価償却といいます。使用可能期間は資産の種類ごとに法令で定められており、一般的にはこの期間で減価償却することになっています。この期間を耐用年数といいます。また、規則的に費用化する方法には、定額法や定率法などの方法があります。これらの方法は、耐用年数が経過したときに資産の帳簿価額がゼロになるように計算しますが、最後に備忘価格 1 円を残すようにしています。

月末に合計残高試算表を作成して会社の資産・負債等の状態や経営状態を把握する場合には、この減価償却費の月割り額を見積もって計上することが一般的です。減価償却費の月割額は、年額を 12 で除して算出します。

減価償却月割額		
平成27年度		
区 分	年 額	月割額
車 輛 運 搬 具	265,260	22,105
工 具 器 具 備 品	358,440	29,870
合 計	623,700	51,975

電子会計では、振替伝票画面から次のように入力します。

振替伝票入力

ヘルプ F2+ 登録 F3+ 行挿入 F4 行削除 F5+ 伝票削除 F6 電卓 F7 メモ F8+ ジャンプ F9+ 事例取込 F10 検索・置換 F11+ 終了 F12

振替伝票入力(6月)

検索(C) 全表示 <<前 次>> 新規伝票

表示順 日付順(Y) 入力順(P) 伝票No.順(D)

月/日(Q) 05/31 伝票No.(B) 65 決算取引(V)

No.	取引コード	摘要	税率	区	借方科目	借方金額	区	貸方科目	貸方金額		
付箋1	コード	補助摘要	事業	税	借方補助	借方消費税	税	貸方補助	貸方消費税		
マーク	付箋2	ME			借方部門	数量		貸方部門			
1		減価償却月割額 5月分			減価償却費	51,975		減価償却累計額	51,975		
借方合計					51,975	貸方合計					
						51,975	貸借差額				
							0				

全表示 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 決算月

減価償却費勘定は費用勘定で損益計算書に計上され、減価償却累計額勘定は資産のマイナス勘定で貸借対照表に計上されます。

会計残高試算表

ヘルプ 補助明細 最新表示 グラフ 元帳 印刷 Excel B4 設定 終了

集計期間(Y) 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 決算 部門(B) 全事業所 売上高対比(V)

貸借対照表 損益計算書 〇 ゼロ非表示(Z) 〇 補助同時表示(V) 〇 税込集計(V) 表示切替(C) 標準表示

補	勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比(%)
	【販売費および一般管理費】					
	給料手当	180,000	154,800	0	334,800	3.61
	福利厚生費	176,040	11,124	0	187,164	2.02
	広告宣伝費	21,600	21,600	0	43,200	0.47
	交際費	30,780	26,460	0	57,240	0.62
	旅費交通費	147,636	27,000	0	174,636	1.88
	通信費	48,400	41,252	0	89,652	0.97
	消耗品費	19,440	16,740	0	36,180	0.39
	水道光熱費	27,000	23,112	0	50,112	0.54
	支払手数料	864	864	0	1,728	0.02
	地代家賃	145,800	145,800	0	291,600	3.14
	保険料	6,000	6,000	0	12,000	0.13
	租税公課	10,000	9,000	0	19,000	0.20
	減価償却費	51,975	51,975	0	103,950	1.12
	雑費	3,780	8,780	0	7,560	0.08
	販売費・一般管理費計	869,315	539,507	0	1,408,822	15.19
	営業利益	68,665	0	269,413	338,078	3.65
	【営業外損益の部】					
	【営業外収益】					
	営業外収益 計	0	0	0	0	0.00
	【営業外費用】					
	営業外費用 計	0	0	0	0	0.00
	経常利益	68,665	0	269,413	338,078	3.65
	【特別損益の部】					

合計残高試算表						
ヘルプ 補助明細 最新表示 グラフ 元帳 印刷 Excel B4 設定 終了						
F1 F2 F3 F4 F5+ F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12						
合計残高試算表						
集計期間(Y) 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 決 部門(B) 全事業所 <input type="checkbox"/> 売上高対比(U)						
貸借対照表 損益計算書 \ <input checked="" type="checkbox"/> ゼロ非表示(Z) <input type="checkbox"/> 補助同時表示(V) <input checked="" type="checkbox"/> 税込集計(J) 表示切替(C) 標準表示						
補	勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比(%)
	(現金・預金)					
	現金	118,754	504,880	471,484	152,150	0.76
	普通預金	11,417,321	4,607,480	4,454,608	11,570,193	57.90
	現金・預金 計	11,536,075	5,112,360	4,926,092	11,722,343	58.66
	(売上債権)					
	売掛金	4,407,480	4,365,360	4,407,480	4,365,360	21.85
	売上債権 計	4,407,480	4,365,360	4,407,480	4,365,360	21.85
	(有価証券)					
	有価証券 計	0	0	0	0	0.00
	(棚卸資産)					
	商品	1,316,520	1,247,400	1,316,520	1,247,400	6.24
	棚卸資産 計	1,316,520	1,247,400	1,316,520	1,247,400	6.24
	(その他流動資産)					
	その他流動資産 計	0	0	0	0	0.00
	流動資産合計	17,260,075	10,725,120	10,850,092	17,335,103	86.75
	(固定資産)					
	(有形固定資産)					
	車両運搬具	1,538,460	0	0	1,538,460	7.70
	工具器具備品	2,079,000	0	0	2,079,000	10.40
	減価償却累計額	-917,475	0	51,975	-969,450	-4.85
	有形固定資産 計	2,699,985	0	51,975	2,648,010	13.25
	(無形固定資産)					
	無形固定資産 計	0	0	0	0	0.00
	(投資その他の資産)					

③＜設問 1＞の解答方法

上記②により、5 月分の会計データの入力完了したら、入力した電子会計データを見ながら、＜設問 1＞および＜設問 2＞に解答することになります。

＜設問 1＞では、各勘定の残高や取引金額、貸借対照表や損益計算書の合計数値や利益額を解答することを要求しています。これらの数値は、合計残高試算表の貸借対照表区分や損益計算書区分、補助科目の表示欄などから求めることができます。

合計残高試算表の貸借対照表区分では、資産、負債、純資産を勘定科目別に前月（期）残高、借方合計、貸方合計、当月（期）残高として確認することができ、資産合計や負債合計などの区分別合計数値を見ることができます。

補	勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比(%)
	(現金・預金)					
	現金	118,754	504,880	471,484	152,150	0.76
	普通預金	11,417,321	4,607,480	4,454,608	11,570,193	57.90
	現金・預金 計	11,536,075	5,112,360	4,926,092	11,722,343	58.66
	(売上債権)					
	売掛金	4,407,480	4,365,360	4,407,480	4,365,360	21.85
	売上債権 計	4,407,480	4,365,360	4,407,480	4,365,360	21.85
	(有価証券)					
	有価証券 計	0	0	0	0	0.00
	(棚卸資産)					
	商品	1,316,520	1,247,400	1,316,520	1,247,400	6.24
	棚卸資産 計	1,316,520	1,247,400	1,316,520	1,247,400	6.24
	(その他流動資産)					
	その他流動資産 計	0	0	0	0	0.00
	流動資産合計	17,260,075	10,725,120	10,850,092	17,335,103	86.75
	(固定資産)					
	(有形固定資産)					
	車両運搬具	1,538,460	0	0	1,538,460	7.70
	工具器具備品	2,079,000	0	0	2,079,000	10.40
	減価償却累計額	-917,475	0	51,975	-969,450	-4.85
	有形固定資産 計	2,699,985	0	51,975	2,648,010	13.25
	(無形固定資産)					
	無形固定資産 計	0	0	0	0	0.00
	(投資その他の資産)					

(注) マークの付いている箇所は、本問の解答箇所です。番号は問題番号を表します。

以下、同様です。

補	勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比(%)
	投資その他の資産 計	0	0	0	0	0.00
	固定資産合計	2,699,985	0	51,975	2,648,010	13.25
	(繰延資産)					
	繰延資産 計	0	0	0	0	0.00
	資産の部 合計	19,960,060	10,725,120	10,702,067	19,983,113	100.00
	(負債の部)					
	(流動負債)					
	(仕入債務)					
	買掛金	3,950,100	3,950,100	3,742,200	3,742,200	18.73
	仕入債務 計	3,950,100	3,950,100	3,742,200	3,742,200	18.73
	(その他流動負債)					
	未払金	1,954,260	41,580	0	1,912,680	9.57
	預り金	8,820	0	3,120	11,940	0.06
	その他流動負債 計	1,963,080	41,580	3,120	1,924,620	9.63
	流動負債 計	5,913,180	3,991,680	3,745,320	5,666,820	28.36
	(固定負債)					
	固定負債 計	0	0	0	0	0.00
	負債の部 合計	5,913,180	3,991,680	3,745,320	5,666,820	28.36
	(純資産の部)					
	(株主資本)					
	(資本金)					
	資本金	10,000,000	0	0	10,000,000	50.04
	資本金 計	10,000,000	0	0	10,000,000	50.04
	(新株式申込証拠金)					

合計残高試算表の損益計算書区分では、収益や費用を勘定科目別に貸借対照表と同様の数値を確認することができ、売上原価、売上総利益、当期純利益などの数値を見ることができます。

合計残高試算表						
ヘルプ	補助明細	最新表示	グラフ	元帳	印刷	Excel
F1	F2	F3	F4	F5+	F6	F7
合計残高試算表						
集計期間(Y) 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 決 部門(E) 全事業所						
貸借対照表 損益計算書						
☑ ゼロ非表示(Z) ☐ 補助同時表示(Y) ☑ 税込集計(J) 表示切替(C) 標準表示						
補	勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比(%)
	【売上高】					
	売上高	4,652,640	0	4,620,240	9,272,880	100.00
	売上高 計	4,652,640	0	4,620,240	9,272,880	100.00
	【売上原価】					
	期首商品棚卸高	1,081,080	N6.8	0	1,081,080	11.66
	期首商品・製品棚卸高 計	1,081,080	0	0	1,081,080	11.66
	仕入高	3,950,100	3,742,200	0	7,692,300	82.95
	当期商品仕入高 計	3,950,100	3,742,200	0	7,692,300	82.95
	合 計	5,031,180	3,742,200	0	8,773,380	94.61
	期末商品棚卸高	1,316,520	1,316,520	1,247,400	1,247,400	13.45
	期末商品・製品棚卸高 計	1,316,520	1,316,520	1,247,400	1,247,400	13.45
	売上原価 計	3,714,660	5,058,720	1,247,400	7,625,600	81.16
	売上総利益	937,980	0	808,920	1,746,900	18.84
	【販売費および一般管理費】					
	給料手当	180,000	154,900	0	334,800	3.61
	福利厚生費	176,040	11,124	0	187,164	2.02
	広告宣伝費	21,600	21,600	0	43,200	0.47
	交際費	30,780	26,460	0	57,240	0.62
	旅費交通費	147,636	27,000	0	174,636	1.88
	通信費	48,400	41,252	0	89,652	0.97
	消耗品費	19,440	16,740	0	36,180	0.39
	水道光熱費	27,000	23,112	0	50,112	0.54
	支払手数料	864	864	0	1,728	0.02
	地代家賃	145,800	145,800	0	291,600	3.14

合計残高試算表						
ヘルプ	補助明細	最新表示	グラフ	元帳	印刷	Excel
F1	F2	F3	F4	F5+	F6	F7
合計残高試算表						
集計期間(Y) 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 決 部門(E) 全事業所						
貸借対照表 損益計算書						
☑ ゼロ非表示(Z) ☐ 補助同時表示(Y) ☑ 税込集計(J) 表示切替(C) 標準表示						
補	勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比(%)
	地代家賃	145,800	145,800	0	291,600	3.14
	保険料	6,000	6,000	0	12,000	0.13
	租税公課	10,000	9,000	0	19,000	0.20
	減価償却費	51,975	51,975	0	103,950	1.12
	雑費	3,780	2,280	0	7,560	0.08
	販売費・一般管理費計	869,315	539,507	0	1,408,822	15.19
	営業利益	68,665	0	269,413	338,078	3.65
	【営業外損益の部】					
	【営業外収益】					
	営業外収益 計	0	0	0	0	0.00
	【営業外費用】					
	営業外費用 計	0	0	0	0	0.00
	経常利益	68,665	0	269,413	338,078	3.65
	《特別損益の部》					
	【特別利益】					
	特別利益 計	0	0	0	0	0.00
	【特別損失】					
	特別損失 計	0	0	0	0	0.00
	《差引損益の部》					
	税引前当期純利益(損失)	68,665	0	269,413	338,078	3.65
	当期純利益(損失)	68,665	0	269,413	338,078	3.65

また、合計残高試算表の補助同時表示にチェックを入れるとでは、補助科目ごとの前月残高、借方合計、貸方合計、当月残高を見ることができます。

合計残高試算表

ヘルプ 補助明細 最新表示 グラフ 元帳 印刷 Excel B4 設定 終了

集計期間(Y) 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 決 部門(B) 全事業所

売上高対比(U) ☐ 売上高対比(U)

貸借対照表 損益計算書 ☒ ゼロ非表示(Z) ☒ 補助同時表示(Y) ☒ 税込集計(J) 表示切替(C) 標準表示

補	勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比(%)
	(現金・預金)					
	現金	118,754	504,880	471,484	152,150	0.76
	普通預金	11,417,321	4,607,480	4,454,608	11,570,193	57.90
	F銀行	11,417,321	4,607,480	4,454,608	11,570,193	57.90
	現金・預金 計	11,536,075	5,112,360	4,926,092	11,722,343	58.66
	(売上債権)					
	売掛金	4,407,480	4,365,360	4,407,480	4,365,360	21.85
	得意先H	1,871,100	1,829,520	1,871,100	1,829,520	9.16
	得意先I	1,372,140	1,360,800	1,372,140	1,360,800	6.81
	得意先J	706,860	712,800	706,860	712,800	3.57
	得意先K	457,380	462,240	457,380	462,240	2.31
	売上債権 計	4,407,480	4,365,360	4,407,480	4,365,360	21.85
	(有価証券)					
	有価証券 計	0	0	0	0	0.00
	(棚卸資産)					
	商品	1,316,520	1,247,400	1,316,520	1,247,400	6.24
	棚卸資産 計	1,316,520	1,247,400	1,316,520	1,247,400	6.24
	(その他流動資産)					
	その他流動資産 計	0	0	0	0	0.00
	流動資産合計	17,260,075	10,725,120	10,650,092	17,335,103	86.75
	(固定資産)					

合計残高試算表

ヘルプ 補助明細 最新表示 グラフ 元帳 印刷 Excel B4 設定 終了

集計期間(Y) 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 決 部門(B) 全事業所

売上高対比(U) ☐ 売上高対比(U)

貸借対照表 損益計算書 ☒ ゼロ非表示(Z) ☒ 補助同時表示(Y) ☒ 税込集計(J) 表示切替(C) 標準表示

補	勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比(%)
	(負債の部)					
	(流動負債)					
	(仕入債務)					
	買掛金	3,950,100	3,950,100	3,742,200	3,742,200	18.73
	仕入先O	3,201,660	3,201,660	2,952,180	2,952,180	14.77
	仕入先V	748,440	748,440	790,020	790,020	3.95
	仕入債務 計	3,950,100	3,950,100	3,742,200	3,742,200	18.73
	(その他流動負債)					
	未払金	1,954,260	41,580	0	1,912,680	9.57
	預り金	8,820	0	3,120	11,940	0.06
	その他流動負債 計	1,963,080	41,580	3,120	1,924,620	9.63
	流動負債 計	5,913,180	3,991,680	3,745,320	5,666,820	28.36
	(固定負債)					
	固定負債 計	0	0	0	0	0.00
	負債の部 合計	5,913,180	3,991,680	3,745,320	5,666,820	28.36
	(純資産の部)					
	(株主資本)					
	(資本金)					
	資本金	10,000,000	0	0	10,000,000	50.04
	資本金 計	10,000,000	0	0	10,000,000	50.04
	(新株式申込証拠金)					

次の表は、本問の各設問に対してどの集計表のどこを見ればよいのかの一覧です。集計期間は5月、税処理は税込としてください。

No.	設問	確認する集計表	確認する個所
6	普通預金の5月末残高	合計残高試算表 (貸借対照表)	普通預金勘定の残高
7	得意先 J に対する売掛金の5月の回収額	合計残高試算表 (売掛金の補助科目表示欄)	得意先 J の貸方金額
8	5月の仕入総額	合計残高試算表 (損益計算書)	仕入高の借方金額
9	仕入先 V に対する買掛金の5月の支払額	合計残高試算表 (買掛金の補助科目表示欄)	仕入先 V の借方金額
10	未払金の5月の支払額	合計残高試算表 (貸借対照表)	未払金勘定の借方金額
11	5月の販売費および一般管理費の合計額	合計残高試算表 (損益計算書)	販売管理費計の借方金額
12	5月末の減価償却累計額	合計残高試算表 (貸借対照表)	減価償却累計額勘定の残高 ^(注1)
13	5月末の資産合計	合計残高試算表 (貸借対照表)	資産合計の残高
14	5月末の売上総利益	合計残高試算表 (損益計算書)	売上総損益の残高 ^(注2)
15	5月末の当期純利益	合計残高試算表 (損益計算書)	当期純損益の残高 ^(注2)

(注1) 減価償却累計額は車両運搬具や工具器具備品などの有形固定資産から控除する形式で表示されているため、マイナス表示となっています。従って、解答の際にはマイナスを取ったプラスの値を選択してください。

(注2) 合計残高試算表における損益計算書では、残高の金額は集計期間の累計額を示しています。

④＜設問2＞の解答方法

＜設問2＞については、主に取引の内容についての設問です。各設問は次のように解答します。

No.16 5月末までの売上高が最も多かった得意先

合計残高試算表の集計期間を4月～5月とします。売掛金勘定の補助科目の借方合計が各得意先に対する売上高を表していますから、その中から最も高い数値の得意先を調べればよいことになります。答えは、得意先Hです。

会計残高試算表						
ヘルプ	補助明細	最新表示	グラフ	元帳	印刷	Excel
F1	F2	F3	F4	F5+	F6	F7
会計残高試算表						
集計期間(Y) 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 決 部門(B) 全事業所						
貸借対照表 損益計算書 \						
ゼロ非表示(Z) 補助同時表示(Y) 税込集計(J) 表示切替(C) 標準表示						
補	勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比(%)
	現金	114,020	1,400,040	1,361,910	152,150	0.76
	普通預金	11,324,905	8,940,740	8,695,452	11,570,193	57.90
	F銀行	11,324,905	8,940,740	8,695,452	11,570,193	57.90
	現金・預金 計	11,438,925	10,340,780	10,057,362	11,722,343	58.66
	(売上債権)					
	売掛金	4,033,260	9,779,940	8,440,740	4,365,360	21.85
	得意先H	1,863,200	3,700,620	3,534,300	1,829,520	9.16
	得意先I	1,330,560	2,732,940	2,702,700	1,360,800	6.81
	得意先J	623,700	1,419,660	1,330,560	712,800	3.57
	得意先K	415,800	919,620	873,180	462,240	2.31
	売上債権 計	4,033,260	8,772,840	8,440,740	4,365,360	21.85
	(有価証券)					
	有価証券 計	0	0	0	0	0.00
	(棚卸資産)					
	商品	1,081,080	2,563,920	2,397,600	1,247,400	6.24
	棚卸資産 計	1,081,080	2,563,920	2,397,600	1,247,400	6.24
	(その他流動資産)					
	その他流動資産 計	0	0	0	0	0.00
	流動資産合計	16,553,265	21,677,540	20,895,702	17,335,103	86.75
	(固定資産)					
	(有形固定資産)					

No. 17 5月末までの仕入高が最も多かった仕入先

No. 16と同様に残高試算表の集計期間を4月～5月とします。買掛金勘定の補助科目の貸方合計が各仕入先に対する仕入高を表していますから、その中から最も高い数値の仕入先を調べればよいことになります。答えは、仕入先Qです。

会計残高試算表						
ヘルプ	補助明細	最新表示	グラフ	元帳	印刷	Excel
F1	F2	F3	F4	F5+	F6	F7
会計残高試算表						
集計期間(Y) 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 決 部門(B) 全事業所						
貸借対照表 損益計算書 \						
ゼロ非表示(Z) 補助同時表示(Y) 税込集計(J) 表示切替(C) 標準表示						
補	勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比(%)
	繰延資産 計	0	0	0	0	0.00
	資産の部 合計	19,305,225	21,677,540	20,999,652	19,983,113	100.00
	(負債の部)					
	(流動負債)					
	(仕入債務)					
	買掛金	3,326,400	7,276,500	7,699,990	3,742,200	18.73
	仕入先Q	2,861,120	5,862,780	6,153,840	2,952,190	14.77
	仕入先V	665,280	1,413,720	1,538,460	790,020	3.95
	仕入債務 計	3,326,400	7,276,500	7,692,850	3,742,200	18.73
	(その他流動負債)					
	未払金	1,985,840	83,160	0	1,912,680	9.57
	預り金	4,770	0	7,170	11,940	0.06
	その他流動負債 計	2,000,610	83,160	7,170	1,924,620	9.63
	流動負債 計	5,327,010	7,359,660	7,699,470	5,666,820	28.36
	(固定負債)					
	固定負債 計	0	0	0	0	0.00
	負債の部 合計	5,327,010	7,359,660	7,699,470	5,666,820	28.36
	(純資産の部)					
	(株主資本)					
	(資本金)					
	資本金	10,000,000	0	0	10,000,000	50.04

No. 18 4月の福利厚生費が5月に比較して多額となっている原因

元帳で福利厚生費勘定を見ると、4月15日に社員旅行費用として、166,320円の支出があったことが分かります。

元帳 (全表示)											
<div>ヘルプ F1+ 挿入 F2+ 削除 F3 伝票呼出 F4 ジャンプ F5+ 電卓 F6+ 印刷 F7 メモ F8+ 機能 F9+ 検索・置換 F10 終了 F11 F12</div>											
<div>検索(C) 全表示</div>											
<div>科目(B) 福利厚生費 補助(N) 部門(B) 全事業所</div>											
<div>表示順 日付順(V) 入力順(D) 伝票No順(D) 中間決算仕訳を表示(Z) 税込表示(U) 明細を表示(V)</div>											
伝票No	取引	コード	摘要	税率	区	相手科目	借方金額	貸方金額	残高		
月/日	付箋1	コード	補助摘要	事業	税	相手補助	消費税	消費税	数量		
マーク	付箋2	メモ				相手部門	元科目補助	元科目部門	元区	元税	元事業
7			コーヒー代 スーパーM・ZA店	(8%)		現金	9,720		9,720		
4/9											
12			社員旅行費用 トラベル(株)	(8%)		現金	166,320		176,040		
4/15											
39			お茶代 ドラッグZA店	(8%)		現金	2,000		178,640		
5/18											
41			コーヒー代 スーパーM・ZA店	(8%)		現金	7,700		186,340		
5/24											
66				(10%)							
05/03											
仕訳件数 4							合計	186,340	0	186,340	
							消費税合計	0	0		
全表示 4月/5月/6月/7月/8月/9月/10月/11月/12月/1月/2月/3月/決算月/											

No. 19 4月の旅費交通費が5月に比較して多額となっている原因

元帳で旅費交通費勘定を見ると、4月5日に遠距離出張旅費精算として、124,956円の支出があったことが分かります。

元帳											
ヘルプ 挿入 削除 伝票呼出 ジャンプ 電車 印刷 メモ 機能 検索・置換 終了											
F1+ F2+ F3 F4 F5+ F6+ F7 F8+ F9+ F10 F11 F12											
元帳(全表示)											
検索(C) 全表示											
科目(B) 旅費交通費 補助(N) 部門(B) 全事業所											
表示順 日付順(N) 入力順(P) 伝票No.順(D) 中間決算仕訳を表示(Z) 税込表示(J) 明細を表示(V)											
伝票No.	取引	コード	摘要	税率	区	相手科目	借方金額	貸方金額	残高		
月/日	付箋1	コード	補助摘要	事業	税	相手補助	消費税	消費税	数量	元区	元税 元事業
マーク	付箋2	メモ	相手部門	元科目補助	元科目部門	元区	元税	元事業			
3			遠距離出張旅費精算 ○山△子	(8%)		現金	124,896				124,896
4/5											
23			4月分ガソリン代 P石油	(8%)		現金	22,968			21	147,636
4/30											
33			出張旅費精算 ○山△子	(8%)		現金	6,900			21	154,536
5/5											
44			5月分ガソリン代 P石油	(8%)		現金	18,100			21 内	172,636
5/31										21 内	
66				(10%)						21 内	
5/31											
仕訳件数 4							合計	172,636	0		172,636
消費税合計								0	0		
全表示 4月/5月/6月/7月/8月/9月/10月/11月/12月/1月/2月/3月/決算月											

No. 20 雑費の内容

元帳で雑費勘定を見ると、新聞購読料の支払いであることが分かります。

元帳											
ヘルプ 挿入 削除 伝票呼出 ジャンプ 電車 印刷 メモ 機能 検索・置換 終了											
F1+ F2+ F3 F4 F5+ F6+ F7 F8+ F9+ F10 F11 F12											
元帳(全表示)											
検索(C) 全表示											
科目(B) 雑費 補助(N) 部門(B) 全事業所											
表示順 日付順(N) 入力順(P) 伝票No.順(D) 中間決算仕訳を表示(Z) 税込表示(J) 明細を表示(V)											
伝票No.	取引	コード	摘要	税率	区	相手科目	借方金額	貸方金額	残高		
月/日	付箋1	コード	補助摘要	事業	税	相手補助	消費税	消費税	数量	元区	元税 元事業
マーク	付箋2	メモ	相手部門	元科目補助	元科目部門	元区	元税	元事業			
24			4月分新聞購読料 D新聞販売所	(8%)		現金	3,780				3,780
4/30											
43			5月分新聞購読料 D新聞販売所	(8%)		現金	3,780			21	7,560
5/31										21	
66				(10%)						21	
5/31											
仕訳件数 2							合計	7,560	0		7,560
消費税合計								0	0		
全表示 4月/5月/6月/7月/8月/9月/10月/11月/12月/1月/2月/3月/決算月											

電子会計実務検定試験 3 級 公式ガイドブック

2010 年 3 月 29 日 改定初版第 1 版発行

2016 年 1 月 22 日 第 1 版改訂

編者 日本商工会議所 IT 活用能力検定試験制度研究会
制作協力 ソリマチ株式会社
発行 日本商工会議所事業部
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 芝 N B F タワー
電話 03-6402-6154

- 本書は、構成・文章・プログラム・画像・データなどのすべてにおいて、著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について、いかなる方法においても複写・複製など、著作権法上で規定された権利を侵害する行為を行うことは禁じられています。
- 本製品に起因してご使用者に直接または間接的損害が生じても、日本商工会議所はいかなる責任も負わないものとし、一切の賠償などは行わないものとします。
- 本書に記載された内容などは、予告なく変更される場合があります。